

## 生物多様性管理の牽引者としての 地方政府

Prairiedog 2007

- ・ 生物学的に多様な生息地は自治体の行政境界線内で完結するものではない。広範囲を管轄する地方政府は複数の自治体を包括する存在であり、生物多様性管理における都市間の連携を促進することができる。
- ・ 地方政府は、革新的な戦略的政策枠組みや総合地域空間計画、生物多様性管理目標の設定といった各種の対策を通じ、効果的な生物多様性管理を実現する道筋をつくることのできる。
- ・ 地方政府は、国家レベルの法規制と自治体レベルの意思決定・実施の間の連絡係として機能することができる。

### 生物多様性に関する地域戦略の策定

州や県などの地方政府が有する政治的義務と権限は国によりかなりの差があるが、生物多様性管理の実行レベルに積極的に関与できるだけの意思決定力を有しているケースが多い。地方政府には、その法的義務の範囲を超えて管轄内の各自治体の活動を取りまとめて促進していく責任がある。生物多様性の質と活力は、州や県をはじめとする広域エリアでカバーされる場所同士の連結性に大きく左右される。したがって、地方政府の有するこの付加的な責任は、生物多様性にとって特に重要な役割を果たしていることになる。

地方政府は、戦略的政策の策定、調整、実施を通じて生物多様性管理に触媒的な作用を果たすことができる。このような地方レベルの政策は、特定の地方における生物多様性管理の共同責任を設定する上で極め

て有効であり、自治体レベルの意思決定を導くことにもつながる。そのような地方レベルの政策を意義の高いものにしていくためには、理想的には中央政府と地方当局、各保全担当当局、企業・産業、自治体レベル

の連携によって策定することが望ましい。

地方政府が指導・推進する地方レベルの政策は、国による法規制と自治体による生物多様性管理との間に制度上の接点を提供するものだ。

### エミリア-ロマーニャ：持続可能な漁業水産

イタリアのエミリア-ロマーニャ州、ならびにベネト州、フリウリ-ベネツィア-ジュリア州、コンソルツィオ・ウニプロム (Consorzio Uniprom) に加え、イストリア地方やクロアチアのプリモルスコーゴランスカ (Primorsko-Goranska) 郡、ノルフイッシュ (Norfish)、ボスニアやヘルツェゴビナの連邦商工会議所 (Federal Chamber of Commerce)、スロベニアのイゾラ自治体 (the Municipality of Izola) などの国境をまたがったパートナーシップにより、北アドリア地域の漁業分野における持続可能な開発を推進するプロジェクトが立ち上げられた。

このプロジェクトは、漁業政策の境界横断的な統合と調和や漁業セクターの責任ある管理、中小企業が利用できる水産資源の増大、伝統的な活動の多様化と革新の促進を通して、漁業を営む中小企業にとって有利な環境を創出することを目的とした活動を立ち上げるべく活動している。

## 行動計画の策定と地域目標の設定

生物多様性地域戦略策定の結果として、土地利用と保全に関する一貫した意思決定プロセスに基づいて地域レベルの行動計画を策定することができる。ここには、インフラストラクチャーや住宅、商業地区の配置方法や保全ゾーンの設定に関する決定が含まれる場合もある。

州や県などの各地方は、プロジェクト遂行のための地方レベルの行動計画を提供し、利害関係者の基盤の確立・管理を行うと共に、国レベル・国際レベルのパートナーと共にプロジェクトの企画書を策定することができる。また、資金調達と遂行に関する自治体レベルの各企画書の組み合わせを調整することもできる。さらに、小規模プロジェクトに資金提供をしたり、プロジェクト実行における主な資金提供パートナーとなったりすることも可能だ。

州や県といった地方レベルの生物多様性計画を策定することで、自治体レベルの実行の促進と調整が可能になる



English Nature 2007

これ以外に地方が担うことのできる重大な役割としては、地方レベルの生物多様性管理目標を設定し、地域レベルの優先順位を反映すると共に国の目標と足並みを揃えた適切な指標を確立することが挙げられる。こう

した指標を基に、地方政府は進捗状況と実行の達成度を監視することもできる。

この点に関して、生物多様性と生態系の回復力と健全性に対する指標を特定することは特に

有効である。たとえば野生動植物の移動に対する生息地相互の連結性の高さをはかる「連結性指標」、生息地の増加あるいは減少の測定、特定の種の状態などを定義することが可能になる。

## インセンティブスキームの策定

### 地方政府によるアクション：ブラバント-オイステルヴァイク (Brabant-Oisterwijk) アピール

2007年2月、「生物多様性2010年目標の擁護者としての地方政府：ヨーロッパとブラバントの出会い (Regions as champions for biodiversity 2010 - Europe meets Brabant, Brabant meets Europe)」という会議がオランダのオイステルヴァイク (Oisterwijk) で開催された。会議は、自然環境保全欧州センター (European Centre for Nature Conservation、以下「ECNC」) と B & E Partnership 社の協賛のもと、ノールトブラバント州が主催し、他のオランダの州も関わった。欧州27カ国から200団体が参加し、欧州における生物多様性2010目標への取り組みを議論すると共に、EU全体と州や県といった地方政府レベルによる政策策定の相乗効果をはかることで、欧州・地方政府両方のレベルにおける計画の見直しを行った。各地域およびその他の利害関係者は、2010年目標の達成、生物多様性と経済的目的の間の対立の解消、相乗効果の活発化を目指して、各種ツールに関する知識を深めた。

「ブラバント-オイステルヴァイク・アピール」の「生物多様性2010年目標の擁護者としての地方政府」というタイトルに端的に表されているように、会議は生物多様性のために行動を起こすことを地方当局の重要な義務であるという決議を出した。

[www.biodiversitybrabant.nl](http://www.biodiversitybrabant.nl)iversity 2010. [www.biodiversitybrabant.nl](http://www.biodiversitybrabant.nl)

人々の慣習を変えて生物多様性管理を実行するインセンティブ・スキームを地方が提供することも可能だ。インセンティブは直接的な資金援助というかたちで提供することもできるが、企業や産業、銀行セクターからの資金投入を含むスポンサーシップ・スキームを整備することも考えられる。

こうした地方レベルのインセンティブ・スキームは、国のスキームに地域の独自性の要素を盛り込むと共に、具体的な実行面の推進や利害関係者や一般市民の参加の促進に役立つ。

中には、賞の授与によってイン

センティブを与える企業・産業を対象とした「環境パフォーマンス指数 (Environmental Performance Index)」を示すスキームを整備している地方政府もある。たとえば株式会社の場合、環境パフォーマンスを向上することによって投資家の関心が高まり、結果として株価が上昇するなどの効果がある。

こうしたスキームはビジネスと幅広い団体の組織的な運営の持続可能性を高めることを目指して作られたもので、生物多様性の管理と保全への貢献を盛り込んでいるケースが多い。

## 自治体の意識向上

生物多様性に関する情報伝達全体において、政府は中心的な役割を担っている。政策過程や利害関係者の参画、市民の意識向上と参加を推進するといった、多くの中心的機能を実施する立場として、地方政府は戦略的に位置づけられている。

以下はそうした地方政府の機能の一部である：

- ・会議の運営、科学政策ネットワークへの接触、重要な情報ソースの交換・掲示を行うウェブサイトの構築、そして視察団の結成などを通じて地域・国・国際間にある専門的知識のギャップを埋めること
- ・持続可能な開発実現のために、産業・ビジネス、交通、農業、社会改善、健康、環境、そして生物多様性の間の架け橋

を行うこと

- ・ツール、ハンドブック、政策的枠組み、ディスカッション・フォーラム、ウェブサイトといったかたちで幅広い参画のための助言と指針を提供すること
- ・利害関係者の参画と対話のためのプラットフォームとパブリックコンサルテーションのための手段を提供すること。こうしたプラットフォームは、政策形成と議論のためにも活用することができ、その結果各政策とその実行に関するオーナーシップが向上すると共に、それらの政策をより柔軟に実行することにつながる
- ・教育アジェンダとのつながりを確立し、未来の世代を積極的に関与させること
- ・プレスリリース、ビデオクリップ、ニュースレター等、マスコミ対応資料を提供すること

地方政府は、生物多様性管理に関する各自治体機関同士のコミュニケーションを確立・促進することができる。地方政府には包括的な権限があることが

ら、生物多様性管理に向けた共通の展望を与える役割を果たせることが多い。



## 南デンマーク地方：生物多様性管理の最前線

現在、カウントダウン2010イニシアチブの枠組みのもとで、各生態系とそこに生息する種のつながりの強化や都市環境における自然の質の改善、リクリエーションを目的とした市民による自然利用の強化に向けて、南デンマーク地方の17の市町村が自然ネットワークを確立し、連携しながら活動している。残りの5つの自治体も参加することになっている。また、子供たちにも容易に理解できる教育資料を作成しており、地方全域の学校で活用されている。

南デンマーク地方当局は、このプロセスのファシリテーションと

調整、自治体に対するプロジェクトの意義の説明、自治体の意思決定プロセスの支援、交流のための基盤の提供、イニシアチブスタート記念パーティーの実施と広報活動を通じて、各自治体を一致団結させる上で決定的に重要な役割を果たした。

自治体の長が2010年までに生物多様性の損失を阻止することに貢献し、未来の世代のために生物多様性を保護するべく全力を尽くすことを誓ったカウントダウン2010に署名した記念式典には、地元の子ども達が何十人も参加した。こうした取り組みを実現する上で地方政府は

有効な役割を果たすことがわかったが、今後も引き続き交流のための支援と基盤を提供してい

くことになっている。



南デンマーク政府

[www.regionsyddanmark.dk](http://www.regionsyddanmark.dk)

## リンブルフ州：ベルギーで最も生物学的に多様な地方

「gemeenten adopteren Limburgse soorten(各自治体はリンブルフからひとつずつ種を養子に迎える(アドプトする))」というプロジェクトには、リンブルフ州(The province of Limburg)、Regionaal Landschap Kempen en Maasland(RLKM)、Regionaal Landschap Lage Kempen(RLLK)が参加している。このプロジェクトの目的は、各自治体に対し、管轄地域の生物多様性に対する責任を担うことを推進することである。危機に瀕する特定の一種を迎え

た自治体は、その種を保護すると共に、生物多様性と地域に生息する絶滅危惧種に関する住民の意識を向上させるための活動を行っている。

RLKMでは、新たに迎えた種を保護するための具体的な活動を示した「マニュアル」を作成し、44の市町村を支援している。こうした行動は、小さな池を掘ったり生け垣を植えたりといった「現場活動」の側面を持っているが、その一方で、住民の意識を高めることに重点を置いた教育的活動という側面も持つ

ている。例えば、教育のためのウォークツアーを開催したり、迎えた種の名前を新しいストリート名にしたり、地元の芸術家によるその種をモチーフにした塑像をつくったりといった活動が挙げられる。RLKMとリンブルフ州は、44の自治体と連携して具体的なアクションプランを策定し、現在は実行にあたっての各自治体を支援しているところだ。2008年2月19日、44の自治体はカウントダウン2010宣言に署名し、その中で、より広い市民と国際社会に対し、自治体同士が連携をとりながら各自が迎えた種を保護するための活動に全力を尽くす決意を詳しく述べた。

各自治体の当局はアクションプランを承認し、ほとんどのケースでは活動をするための予算をすでに確保している。

Regionaal Landschap Kempen en Maaslandは、リンブルフ州と連携してこのプロセスをスタートさせる責任を負っていたが、今後は各自治体を支援すると共にプロジェクトの調整を図っていく。

### 地方政府の重要性を示す事例

上記の事例が示すように、生物多様性の急激な損失とそれに係る問題への対処における地方政府の役割は明白かつ重大である。地方政府は全体的な戦略を見渡す立場にあり、多くの場合、生物多様性の損失に対する行動を引き出す上で大きな援助を提供できる権限を持っている。

地方レベルの活動は、国レベル・国際レベルのプログラムとの間のつながりを強化すると共に、地域ごとのアジェンダを実行に移していく上で強力な推進力になることができる。

この資料は、自治体・地方政府レベルの意思決定機関に対して指針と情報を提供する目的で作成したファクトシートシリーズの一部です。生物多様性の損失の阻止に自治体・地方政府が貢献してきた軌跡に関する詳細情報については、ウェブサイト([www.countdown2010.net/lara](http://www.countdown2010.net/lara))を参照いただくか、直接ご連絡ください。すべてのファクトシートは、[www.countdown2010.net/lara](http://www.countdown2010.net/lara) (英語版)および[www.bduj.org](http://www.bduj.org) (日本語版)からダウンロードすることができます。



### 事実とデータ

- IUCN(2004)によると、世界全体で推定500万から3,000万と推定されている生存している種のうち、確認されているのは190万種。
- 生態系の中で最大の影響を受けているのは、温帯林・地中海性林および草原地帯。これらの生態系の四分の三に近い部分が農耕用に開拓されている。

### 都市の生物多様性とは...

都市部の生物学的多様性のことである。都市の生物多様性は、人口密度が密集した都市部の建築環境や社会的・経済的・文化的な変遷パターンから甚大な影響を受けている。

カウントダウン2010事務局  
(Countdown 2010 Secretariat)  
IUCN Regional Office for Europe  
Boulevard Louis Schmidt 64  
1040 Brussels, Belgium  
Tel: +32 2 739 03 20  
Fax: +32 2 732 94 99  
[www.countdown2010.net/lara](http://www.countdown2010.net/lara)

自然環境保全欧州センター  
(European Centre for Nature Conservation, ECNC)  
[www.ecnc.nl](http://www.ecnc.nl)  
イクレイ—持続可能性をめざす自治体協議会  
[www.iclei.org/biodiversity](http://www.iclei.org/biodiversity)  
「生物多様性のためのローカルアクション」(Local Action for Biodiversity, LAB)  
[www.iclei.org/lab](http://www.iclei.org/lab)

このファクトシートは2008年、カウントダウン2010、ECNC、LABの後援によりイクレイが作成したものです。

本ファクトシートの日本語版は、経団連自然保護基金と地球環境基金の助成によって、生物多様性JAPANが作成したものです。